

科目分類	栄養教諭資格関連科目			開講学科	医療栄養学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
14015	3	後期	選択	2	30
授業科目名 (英文)	学校栄養教育実践演習 (Practical Nutrition Education at School)				
担当教員名	市場 祥子				
授業の概要及び到達目標					
<p>食に関する指導の具体的な指導内容を実践演習し、その手法を取得する。栄養教諭に課せられている食に関する指導の3つの職務について、教科等の指導の指導案(年間計画、関連教科、特別活動等)を作成し(plan)、模擬授業を行い(do)、相互評価を行うこと(see、action)。又連携指導(試食会、給食だより等)や個別指導(特に食物アレルギーへの対応等)についての実践方法のスキルを学ぶ。</p>					
準備学習等					
<p>第1回授業:前期で学習した職務(特に食に関する指導)や作成した全体計画内容の確認。  第2回授業:学校教育の仕組み、学習指導要領については、実習の手引(P35~37)を熟読してくる。  第3回授業:教科書第9章小・中家庭科(P106~122)、第10章小・中保健科(P123~133)を熟読。  第4回授業:教科書第11章小・中の道徳、特別活動(P134~147)第8章も熟読。質問事項を把握。  第4回授業:教科書第12章生活科(P148~155)、総合的な学習の時間(P156~166)を予習する。  第5回授業:栄養教諭実習の手引(P89~106)を読んでおく。(学習指導案の作成方法、留意点等)  第6回授業:栄養教諭実習の手引(P89~90、P95~96)参照し、授業の進め方を予習。DVDの視聴  第7回授業:演習する(教科、教科外)、(小・中)、(学年)、(題材)等を決定し、演習内容(指導案の概容等)を考えて来る。演習時までには演習の準備(指導案、板書計画、教材等)  第8回授業:各自作成指導案による授業演習(演習準備、演習記録、指導案や教材の確認等)  第9回授業:各自作成指導案による授業演習(同上)演習内容の予習  第10回授業:各自作成指導案による授業演習(同上)〃  第11回授業:各自作成指導案による授業演習(同上)〃  第12回授業:各自作成指導案による授業演習(同上)〃  第13回授業:各自作成指導案による授業演習(同上)〃  第14回授業:教科書第14章、15章の熟読、文科省作成の手引(第5.6章)参照。演習の準備。  第15回授業:後期実践論学習のまとめと反省、感想、今後の展望や栄養教諭への期待等を記録</p>					
成績評価の方法	<p>○課題の提出で評価する。  ・食に関する指導の全体計画 ・模擬授業の指導案及び使用教材、・演習記録  ・1週間の学校給食献立・個別指導や連携指導への対応と後期実践論の感想</p>				
テキスト	<p>○「三訂 栄養教諭論(理論と実際)―第3版―」金田雅代編著 建帛社  ○小学校学習指導要領解説(家庭・体育・特別活動)  ○中学校学習指導要領解説(技術家庭・保健体育・特別活動)  ○小中学校家庭科教科書(開隆堂)及び<u>体育、保健体育教科書(東京書籍)※</u>  ○「食に関する指導の手引」―第1次改定版― 文部科学省発行  ○「栄養教諭(養成における)実習の手引」第二版 監修・著書 田中 信  著者― 関登美子・横山季世・蕨迫栄美子・市場祥子  ○より効果的な実践演習のための資料(プリントや協議会刊行冊子より)等</p>				

参考図書	○ 授業演習に関する参考のビデオ、DVD ○ 栄養教諭のためのカリキュラム
備考	○ 本科目を受講する場合は、必ず教職科目や学校給食の管理の実習を履修することが望ましい。 ○ 前期で学習した学校栄養教育論の知識を基礎とする。 ○ 授業終了後に教室で疑問事項等について質問を受ける。
授 業 計 画 (実際の授業計画との関連)	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 食に関する指導に係る全体的な計画の作成(年間指導計画の策定に参加するために必要な事項、食に関する指導の成果に対する評価のあり方) (1) (2) (前期)</li> <li>2. 給食の時間における食に関する指導(地場産物の活用他) (前期)</li> <li>3. 教科における食に関する指導(①家庭科、技術・②家庭科—家庭分野) (3)</li> <li>4. 教科における食に関する指導(①体育科—保健分野、②保健体育—保健領域) (3)</li> <li>5. 道徳、特別活動の時間における食に関する指導(食生活学習教材の活用) (4)</li> <li>6. 生活科、総合的な学習の時間における食に関する指導 (4)</li> <li>7. (1) 食物アレルギーなど食に関する個別的な相談指導を要する児童および生徒ならびに他の児童および生徒の指導上の配慮 (14)</li> <li>(2) 学校・家庭・地域が連携した食に関する指導(支援ネットワークの構築等) (14)</li> <li>8. 実践演習(食に関する指導案作り)全体的な計画の作成、学校給食の教育的な活用、各教科研究授業の立案 (5) (6) (7)</li> <li>9. 実践演習(食に関する指導の指導案作り)教材作り (8) (9)</li> <li>10. 実践演習(学生が作成した指導案の発表) (10)</li> <li>11. 実践演習(学生が作成した指導案の発表) (11) (12)</li> <li>12. 実践演習(指導案の相互評価など) (13)</li> <li>13. 実践演習(模擬授業、指導効果、評価方法等) (13)</li> <li>14. 学校、家庭、地域が連携した食に関する指導・個別指導の具体的な取り組みについて(14)</li> <li>15. まとめ(後期実践論のまとめと反省、栄養教諭の職務への期待と今後の活動の展望) (15)</li> </ol>	
実際の授業計画	
<p>第1回：後期授業について・・・栄養教諭の職務の確認、教諭の資質、全体計画作成方法の復習</p> <p>第2回：学校教育の仕組み・・・学校教育計画、学習指導要領、学校の食に関する指導の位置付け等</p> <p>第3回：教科における食に関する指導・・・小・中学校の家庭科および保健、その他の関連する教科(主に理科・社会等)における指導方法等について</p> <p>第4回：教科外における食に関する指導・・・小・中学校の特別活動(小学校食育教材の活用)、道徳</p> <p>第4回： // 生活科(1, 2年)、総合的な学習の時間での関わり方</p> <p>第5回：学習指導案の作成方法について・・・教科および教科外指導について(学校給食の活用等)</p> <p>第6回：1単位時間の授業の進め方・・・指導者としての授業時の留意事項、DVD視聴、演習方法</p> <p>第7回：グループワーク・・・演習の教科、題材、学年の決定、指導案の作成及び教材作り</p> <p>第8回：授業演習・・・学生が作成した学習指導案による模擬授業(事前準備・・・指導案・板書計画、教材作り、ワークシート等) 当日の授業内容(準備、演習、評価、記録、感想)</p> <p>第9回：授業演習・・・学生が作成した学習指導案による模擬授業 ( 同上 )</p> <p>第10回：授業演習・・・学生が作成した学習指導案による模擬授業 ( 同上 )</p> <p>第11回：授業演習・・・学生が作成した学習指導案による模擬授業 ( 同上 )</p> <p>第12回：授業演習・・・学生が作成した学習指導案による模擬授業 ( 同上 )</p> <p>第13回：授業演習・・・学生が作成した学習指導案による模擬授業 ( 同上 )</p> <p>第14回：個別栄養相談指導および家庭・地域との連携指導の具体的な実践方法及び演習</p> <p>第15回：まとめ：後期実践論のまとめと反省、栄養教諭の職務への期待と今後の展望</p>	

※演習計画の詳細は別添演習予定表による。